

Special Edition

特集◎1. いざというときの防災のススム
2. ご長寿万歳
3. 霧島の防犯

霧島

広報きりしま
OCTOBER.2006 VOL.20
10



9月27日 10時33分 横川町山ヶ野

Kirishima City Public Relations, Japan
2006.10 VOL.20

霧 広報きりしま 島



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/アドレス/E-mail info@city.kirishima.jp
編集/広報広聴課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南国分新生社印刷



◎今月の表紙



時 代とともに少なくなってきた石垣。横川町山ヶ野にはきれいに積まれた石垣がまだ残る。木陰からの涼風が石垣の間を通り心地よさを感じる。癒しのときと歳月を重ねた石垣の光景には古老がよく似合う。

【撮影データ】 デジタルカメラ レンズ17～85mmF4～5.6 ISO200 1/45 F8

Editor's

先日、30歳以下の職員だけの交流会がありました。まだ知らない職員もいて、参加したいなあと思ったら今年で31歳。諦めて仕事をしていたら、先輩が「交流会行かないんですか」と一言。「オレ31」と答えると苦笑いで走り去る先輩。なんだか秋の夜風を寂しく感じました。(み)

子どもたちが通うM小学校の運動会があった。「かけっこ」長男が4番、長女が2番、いよいよ次男の番。ビデオカメラを持つ手が子どもを追いかける。「早い、2番だ」ばあちゃんも喜ぶ。(さすがわが息子)と思っ子どもにズーム。違う子だった。やっぱり、かえるの子はかえる。(た)

スポーツの秋、各学校、地域で運動会が行われています。母校の小学校へ6年ぶりに見に行くと、ちょうど昼時に「親父の会」によるパフォーマンスが行われ大爆笑。年々児童数が少なくなる中、運動会を盛り上げようと一生懸命でした。また、来年も見に行きたいと思います。(い)

もうすっかり秋。各学校では運動会がありました。小学校2年生のめいが「今年のかっこは5番くらいかな」と欲のない発言を。「けしんかぎい、きばらんね」と励ますばあちゃんに「死んだらダメだよ」と冷静に返しためい。そうじゃなくて…。まあ自分なりにがんばればいよいよね。(あ)

◎人口/128,180人(-13)
男性/61,951人(-4) 女性/66,229人(-9)
出生110人/死亡100人 転入507人/転出531人
◎世帯数/56,184世帯(+93)
(平成18年9月1日現在)

いざというときのための 防災のスズメ

豪雨災害の教訓を生かし、異常気象や台風による集中豪雨・洪水・土砂崩れなど防災の備えの必要性を訴え、住民の生命と財産を守ることに徹します。

避難時の情報伝達の方法

災害などにより、避難が必要と認められる状況になれば、市長などの命令を受けた市職員や消防関係者などから避難勧告・避難指示が出されます。避難が必要と認められる状況の判断は、その時に応じて災害対策本部などが行い周知します。

避難勧告と避難指示の違い

- ・避難勧告…明らかに危険が事前に予想され、避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。
- ・避難指示…危険が切迫した状況で、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。

日ごろからの備え

- ・災害はいつ、どこで発生するか分かりません。そのため、日ごろから次のような備えが大切になります。
- ・避難所=市内には164か所の避難所があります。近くの避難所の場所とルートを確認する。
- ・避難グッズ=食料や衣類などの避難に必要な物を揃えておく。

緊急防災会議で 問題点と対策を検討

6、7月に霧島市は豪雨に見舞われ、各地に大きな被害ができました。6月24日と7月21日には災害警戒本部が、7月22日には災害対策本部が霧島市発足後、初めて設置され災害への対策がとられました。しかし、その対策の中でさまざまな問題が発生したため、市の災害対応を検証し、問題点・対策を明らかにするために、8月31日、緊急防災会議が開かれ今後の防災対策について協議されました。中でも一番の問題になったのが避難者への食事提供の問題。市として避難者への食事提供についての対応が統一されておらず、具体的な取り決めがなされていませんでした。そのため、避難所によって対応が違うといった問題が発生。そこで統一した考え方として、被災者（避難指示を含む）には食事を提供する、被災を被っていない避難者（自主避難、避難勧告）には基本的に食事提供はしない、ただし、避難期間の長短や避難時の状態、高齢者や病人など状況に応じては食事提供をすることに決まりました。

その他の問題点として、避難勧告に応じた避難者は全体のわずか1・8割と少なかつたことです。対応策としては避難者に避難勧告の重要性の周知や勧告の時期を検討するなどの案ができました。他にも、いくつかの問題点が出され、今後の市防災に役立てていきます。

災害で分かった 問題点と対応のしかた

鹿児島県各地に被害をもたらした2つの豪雨。霧島市も例外ではなく、大きな被害を受けました。6月24日には市内各地で午前5時ごろから午後9時ごろにかけて豪雨に遭い、牧園地区では時間最大雨量84mmの猛烈な雨が降り、最も少なかった福山地区でも40mmの激しい雨を記録しました。この雨で天降川（東郷観測所）の水位が午前9時に警戒水位の8mを超えて8・51mまで水位が上がりました。被害額は市内で約1億7千万円に達し、特に農業関係に大きな被害が出ました。

7月21日から23日にかけては、記録的な豪雨に見舞われ、牧園町の新湯では降り始めからの総雨量が1、228mmを記録しました。県内でも湧水町やさつま町など県北部で大きな被害が発生しました。市内の3日間の総雨量は横川地区で605mm、牧園地区で540mm、溝辺地区で481mmを記録。午後2時過ぎには天降川（東郷観測所）の水位が危険水位の9mを超え9・44mに達し、危険な状況に陥りました。一方、横川地区では清水川流域の住民に対して浸水の恐れがたまため1、012世帯、2、368人に避難勧告が出されました。この豪雨での市の被害額は約2億6千万円に達しました。

9月17日に九州地方を襲った台風13号は、市には大きな被害をもたらしませんでしたが、沖縄県竹豊町で最大瞬間風速69・9m/s、長崎県長崎市では最大風速46m/sを観測するなど観測史上最も強い最大風速、最大瞬間風速を記録しました。また、台風と活発な前線の活動により九州各地は大雨にも見舞われ、1時間雨量が大分県佐伯市で122mm、佐賀県伊万里市で99mmという記録的な大雨となり各地に大きな被害をもたらしました。

自然災害は、私たちの想像を超える力で大きな被害をもたらします。そんな自

然災害に対し、市は、私たちほどのような対応をすればいいのでしょうか。市では6月の豪雨のときに災害警戒本部を、7月では災害対策本部を設置して災害に対応しました。また、災害後、災害対策会議を開き対応について協議しました。6月の豪雨については、本庁と総合支所との連絡体制や災害情報の報告・通報要領、避難所の職員の配置、災害情報の収集手段の整備、災害対策本部などの場所などについて協議し、7月の豪雨については、災害対応の問題点や防災関係機関との意思の疎通と情報の共有、避難所の食事提供の実態、災害対策本部の施設整備などについて協議しました。

市では現在、防災業務の大綱を示す「霧島市地域防災計画」を作成中です。今回分かった問題点や対策、そして災害対策会議で協議した内容をこの防災計画に取り入れ、今後の防災のために役立てていきます。しかし、災害はいつ、どこで発生するか分かりません。市や防災機関だけでは市民13万人を守っていくのは難しく、市民の皆さまのご協力と日ごろから防災意識を持つことが大切です。

http://www.city-kirishima.jp/122001/emergency_info/index.htm

霧島市のホームページに市指定避難場所一覧が掲載されています。事前に最寄りの避難所を確認してください。

私は、豪雨や台風のたびに避難しないといけません。そのため避難用具はいつも準備していて、避難も早めに自主避難しています。しかし、78歳になる私は、避難所まで杖について歩いて行くため毛布などを持参することができません。避難所には毛布を準備するなど、災害弱者への対応を検討してほしいです。

豪雨避難者
福ヶ迫 数雄さん



市では防災について放送設備など防災上の設備や防災能力の向上といった人的体制の整備に全力で取り組んでいるところです。例えば、地域防災計画や防災マップの作成、自主防災組織の活性化などです。しかし、大きな災害が起きた場合に備え市民の皆さまも日ごろから防災意識を持っていただくことが大切です。

霧島市危機管理監
宇都 克枝



大雨で増水した降川が危険な状態に



皆さんが元気で末永く暮らせるようお祈りします

ご長寿万歳

ごちょうじゅばんざい

市内で最高齢者の本田ユミさん（106歳）。隼人町松永のご自宅で市長と笑顔で話す。



耳が少し遠くなりましたが、長寿の秘けつはよく食べ、よく話すことではないでしょうか

本田さんは話をするのが大好き。耳が少し遠くなりましたが、いつも笑顔で話しています。もう一つ好きなのがトマト。今でも毎日トマトを食べていて、昔はみんなからトマト婆さんと呼ばれていたほど。「よく食べ、よく話す」ことが長生きの秘けつなのです。

霧島市のご長寿

9月18日の「敬老の日」を前に市では高齢者の方々に長寿祝金を贈りました。対象者は市内に1年以上住所があり、9月15日現在で満80歳、満88歳、満95歳、100歳以上の方で、今年は約1、490人の方が対象となりました。

9月6日には、前田終止市長が最高齢者の本田ユミさん（106歳・隼人町松永）などを訪問し、長寿祝金を贈りました。本田さんは前田市長から長生きの秘訣を聞かれると「よく食べ、よく話すことです」と笑顔で答えていました。市内で100歳以上の（9月15日現在）方は50人。最高齢者の本田ユミさんをはじめ、横川町の原口キノさん（104歳）、国分の瀬戸口クニさん（104歳）、溝辺町の内門クミさん（103歳）、国分の荒武ミナさん（103歳）の順となっ

ています。

高齢化の状況

日本の人口は明治時代に人口調査が行われるようになってから増えつづけています。しかし、近年、人口構成に変化が出てきています。その一つの要因が高齢化。高齢化率が14%を超えた社会のことを「高齢社会」と言い、平成6年には日本は「高齢社会」に突入しました。

霧島市は9月1日現在、65歳以上の人口が27,629人で全体の21.56%（男17.96%、女24.93%、国20.00%、県24.70%）を占め、「高齢社会」に突入しています。今後はこの「高齢社会」の中でどのようにして元気で末永く暮らせるかを考えていくことが大切になります。

元気で末永く暮らせるために

市では高齢者の方々、充実した生活を

送るためにさまざまな事業に取り組んでいます。

- ▼**高齢者の自立を支援する事業** 外出時の付き添いや生活必需品の買い物などの生活支援を行う「生活支援型ホームヘルプサービス事業」、日常動作訓練から趣味活動などの「生きがい対応型デイサービス事業」、食事づくりが困難な高齢者に食事を届ける「食の自立支援サービス事業」など。
- ▼**ひとり暮らしの高齢者のための事業** 安心して生活できるよう火災警報機や自動消火器などを給付する「日常生活用具の給付事業」、ひとり暮らしなどの家庭を訪問し、声かけや在宅福祉サービスの助言などをする「在宅福祉アドバイザー活動促進事業」など。
- ▼**家族を支援する事業** 寝たきり老人などを長期にわたり介護している方に手当が支給される「高齢者福祉手当支

給」、在宅でおむつを必要とする高齢者を介護している家族におむつなどを支給する「家族介護用品支給事業」など。

▼**自宅を住みやすくする事業** 高齢者の体の状況で住宅を改造する必要がある場合に助成する「高齢者等住宅改造推進事業」。

▼**仲間をつくるための事業** スポーツ、趣味などの活動を通じて生きがいづくりや健康づくりをする「老人クラブ」など。

▼**その他の事業** 就労を支援する「シルバー人材センター」、高齢者の健康維持のために「はり・きゅう、温泉保養券の支給」、高齢者のための相談窓口として「地域包括支援センター」、「在宅介護支援センター」などがあります。このように、高齢者が元気で安心して暮らせるようにさまざまな事業を展開しています。詳しくは高齢・障害福祉課 ☎（64）0995までお問合せください。

多年にわたり社会につくしてきたご老人を敬愛し、長寿を祝います



吉満 フヂ子さん（102歳）
隼人



宮下 タケさん（100歳）
国分



荒武 ミナさん（103歳）
国分



池田 ヒデさん（103歳）
牧園



福永 栄治さん（101歳）
隼人

敬老の日の始まり

「敬老の日」は、昭和22年に兵庫県多可郡野間谷村（現在の多可町）で始まった「としよりの日」が始まりです。「としよりの日」は老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村づくりをしようと、気候の良い9月15日を「としよりの日」と決めました。昭和25年には兵庫県全体で9月15日を「としよりの日」にしよるとする県民運動が開始され、翌年には全国社会福祉協議会が全国運動を提唱。9月15日から21日までの1週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自信もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」ことを目指し、全国でさまざまな活動が推進されました。「としよりの日」は後に「老人の日」に改称され、昭和41年には国民の祝日「敬老の日」へと発展しました。平成13年には老人福祉法の改正により、9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間が「老人週間」と定められました。平成15年からは、「国民の祝日に関する法律」の改正により、9月の第3日曜日が「敬老の日」となりました。「敬老の日」は日本でできた祝日で、海外にはない日本独自の祝日です。



県内2番目の高さ 犯罪発生率は

新聞やテレビで毎日のように報道される事件や事故。近年では凶悪犯罪も増え、子どもが被害者、加害者になる事件も多く発生しています。

このことは、霧島市も例外ではありません。霧島市の犯罪発生率は高く、鹿児島県警がまとめた「平成17年度の県内市町村犯罪発生実態」では、刑法犯犯罪率が鹿児島市に次いで2番目に高く、窃盗犯罪率は県内で1番高いという結果が得られました。

犯罪の実態を見てみると、県全体では昨年1年間で住宅や会社事務所などに侵入して金品を盗む事件が2,010件発生しています。犯人は鍵のかかっていない出入り口や窓から侵入したり、窓ガラスを割るなどして盗んでいます。凶悪犯罪に発展するケースもあります。霧島市の犯罪の状況は、犯罪の約3割が自転車やバイクを盗む乗用物窃盗で、国分駅や単人駅周辺で多く発生しています。また、8月までに発生した凶悪犯罪の件数は県内で一番高くなっており、振り込め詐欺による被害額も今年だけで約900万円の被害が発生しています。

このような状況の中、安心して安全なまちを目指すために私たちはどうすればいいのか。ここでは、霧島市の防犯について考えてみたいと思います。

自分たちのまちは自分たちで守る

犯罪発生率が高いことを受け、市内ではさまざまな防犯活動が展開されています。その1つが、自主防犯組織の防犯パトロール隊です。自分たちのまちは自分たちで守ろうと市内には54の防犯パトロール隊が発足。自治公民館組織や学校、民間企業、自衛隊、郵便局、消防団などさまざまな組織で構成されており、市内ほぼ全域で活動しています。

市内の防犯パトロール隊第一号は、まちづくり舞鶴隊です。「地域の安全のために役に立ちたい」と思った第一工大生の有志が集まり結成された舞鶴隊。霧島警察署と協力して夜間パトロールをしています。自治公民館組織として最初に発足したのは単人町姫城の姫城パトロール



霧島市内の愛犬家たちが結成した「きりしまワンコ隊」、連携して愛犬と一緒に犯罪防止を目指して地域内をパトロールしています。

隊です。30代から70代までの方が活動していて55人の隊員が3班に分かれ見回りをしていきます。そのおかげで最近では犯罪件数が減少。今では、地域の方とも連携をとり地域全体で防犯に努めています。霧島警察署では、犯罪を減らすために夜間パトロールや防犯の呼び掛けを強化し、地域と連携して防犯に努めており、近年、犯罪件数は減少しています。

日ごろからの防犯意識

被害に遭われたほとんどの人が「まさか自分が」と話します。霧島市でも被害の多い車上あらしや空き巣も「まさか自分」という気持ちのためか、車の中に貴重品を置いたままだったり、ゴミ捨てなどで短時間外出をするときに鍵を開けたままだったり、ちよっとした油断で被害に遭うケースが多いようです。日ごろから防犯の意識を持つことが被害に遭わない一番の方法のようです。

霧島市の安心安全は私たちが守る

県内でも犯罪率が高い霧島市、防犯のために市内各地でさまざまな活動が展開されています。



霧島市の防犯のためにご協力をお願いします

濱田 一徳 霧島警察署生活安全刑事課長
霧島警察署管内は鹿児島市に次いで犯罪件数が多い。特に乗り物窃盗が全体の約30%を占めています。警察署では、各防犯パトロール隊との連携や夜間パトロールの強化などを行っています。その結果、昨年度は前年度より約200件犯罪件数が減り、今年も前年に比べ19%減っています。また、管内の事件事故情報を知らせる「あんぜん・あんしんメールかけはし」の配信を始めました。これは市民の皆さんと情報を共有し、事件の早期解決や事件の内容を知らせ防犯を呼び掛ける効果に期待しています。霧島市の安全のために今後もご協力をお願いします。

霧島あんぜん・あんしんメール「かけはし」会員募集

市では、霧島警察署と連携して、不審者出没情報などの各種防犯情報を市民の皆さんの携帯電話やパソコンのメールを通じて提供するサービス霧島あんぜん・あんしんメール「かけはし」を開始しました。これにより、防犯警戒情報を迅速に市民の皆さんに提供することが可能となり、市内犯罪の未然防止に大きな効果があるものと期待されます。



登録制ですので、希望される方は下記アドレスに、氏名、連絡先、居住地区名、職業、年齢など必要事項を書き込んだメールを送信してください。特に子どもを持つ保護者のみなさんと防犯活動に携わっている方は、ぜひ活用してください。
アドレス Kirishima110@po5.synapse.ne.jp
◎問い合わせ先＝霧島地区防犯協会 ☎45-9915



姫城防犯パトロール隊長 田中 正義さん

55人で3班に分かれて活動しています。毎月パトロールの日時やルートを変えて行動パターンが分からないようにするなどの工夫をしています。活動を始めて1年目は4割犯罪が減りました。これからもこの地域は自分たちで守っていきます。



まちづくり舞鶴隊長 春日 大策さん

第一工大生の有志で活動を始めました。隊員は15人で週2回地域の夜間パトロールをしています。この地域が犯罪率が高いことは知っていました。私たちの活動で少しでも安全安心なまちになるようにこれからも活動を続けていきたいです。

Zoom up Kirishima きりしま / かわら版 !! POINT OF VIEW

Kirishima topics 01

コンドーテックと立地協定

大阪の資材会社コンドーテック株式会社が発売所を進出させることが決まり、9月25日、霧島市と立地協定を結びました。コンドーテックは、土木・建設・荷役・船舶用資材などを製造販売および輸出入している会社です。新設営業所は鹿児島臨空団地内の敷地3、129平方メートルに事務所付き倉庫を建設し、来年3月に操業を開始する予定。従業員数11人のうち大部分を新規雇用する方針。調印式でコンドーテックの近藤純位会長は「地域に愛される活動をしていきたい」と抱負を述べました。



調印を記念して握手を交わす近藤会長ら

Kirishima topics 02

これからも夫婦共に歩む

9月21日、グランラセーレ・シエロで「霧島市合同金婚式」が開催されました。結婚生活50年という長い年月を共に支え合い、金婚式に出席した夫婦は127組で、50年ぶりに三三九度の杯を交わし、夫婦の絆をさらに強めました。霧島市社会福祉協議会の大山会長が「戦後の激動の時代に家族の繁栄や社会の復帰に貢献されてきたことに深く感謝します」とあいさつしました。参加者を代表し池田一真さんが「夫婦揃って元気に金婚式を迎えることができ感激。これからは夫婦共に励んでいきたい」とお礼の言葉を述べました。



緊張した様子で三三九度の杯を交わす夫婦

Kirishima topics 03

グラウンドゴルフで健康づくり

9月12、13日、霧島ロイヤルホテルにおいて、グラウンドゴルフの普及および拡大と、中高年の健康増進を目的とした「第5回霧島さんるくグラウンドゴルフ大会」が開催されました。県内外から集まった364人の参加者らは、霧島連山を望む4ラウンド32ホールで打数を競い合い、心地よい汗を流しました。ホールインワンも数多く飛び出し、会場のいたるところで歓声が上がっていました。競技終了後は、宿泊券や特産品が当たるお楽しみ抽選会もあり、参加者らは「また来年も参加したい」と満足そうに話していました。



霧島連山の景観を楽しみながら競技をする参加者ら

Kirishima topics 04

兄弟そろって世界大会で活躍

9月17日、東京武道館で開催された第5回糸東流空手道世界選手権大会に、隼人町空手道スポーツ少年団の森優人君（隼人中2年）、亮太君（宮内小6年）、優貴君（宮内小2年）の兄弟3人がそろって出場しました。その中で優貴君が組手6〜8歳男子三級以上の部で世界の強豪が集う中、見事3位に入賞し、銅メダルを獲得しました。「足技や蹴りなどスピードが違った。刺激になりました」と話していました。今後は4年後の世界大会を視野に入れながら、来年の全国大会での優勝を目指します。



世界大会で活躍した亮太君、優貴君、優人君（左から）の3人

Kirishima topics 05

父親も母親と共に子ども教育

9月12日、福山公民館で「第1回霧島市福山親父たちのつどい」が開催され、現在の教育問題について学びました。このつどいは親教育の一環として、コミュニケーション不足から生じるといわれる問題を解決するために実施され、幼稚園から高校生を持つ保護者を対象に、子どもとのコミュニケーション能力を高める方法をインプロという即興演劇を使って学習しました。演劇の中では、子どもの情報を確実にとらえた上で、親の情報を正確に伝える「YES☆AND方法」をゲーム感覚で体験し、楽しい研修となりました。



インプロ（即興演劇）を使って体験学習

Kirishima topics 06

国分中、国分小 全国大会へ出場

九州吹奏楽コンクールで金賞を受賞した国分小学校と国分中学校の吹奏楽部が、全国大会に出場することになりました。国分小は11月に千葉の幕張メッセで、国分中は10月に「吹奏楽部の甲子園」といわれる東京の専門館で開催される全国大会に向けて練習に励んでいます。全国大会で連続金賞を目指す国分中吹奏楽部顧問の永野俊也教諭は「九州代表として恥ずかしくない演奏をし、地域に還元できるような勉強をします」と、部長の内田亜沙美さんは「専門館を響かせて国分中らしい演奏をしたい」とそれぞれ抱負を語りました。



全国大会に向け練習に励む国分中吹奏楽部

Kirishima topics 07

史跡をめぐる霧島市の歴史に触れる

9月23日、第3回市内史跡めぐり「きりしま歴史散歩」が開かれました。この史跡めぐりは、市内に多く点在する貴重な文化財を見学し、市の歴史に触れていただくために開催されています。3回目となった今回のテーマは「近代化遺産」。登録有形文化財に指定されている嘉例川駅や横川町の池田家住宅主屋・石倉、森山家住宅石倉などを見学しました。嘉例川駅では名誉駅長の福本平さん（隼人町姫城）から駅の歴史などについて説明があり、参加者は興味深そうに福本さんの話に聞き入っていました。



嘉例川駅で福本さんの説明を聞く参加者

図書館へ行こう

名 もなき毒 (宮部みゆき)
 八月の路上に捨てる (伊藤たかみ) 彼女の命日 (新津きよみ) 永遠の球児たち (鈴木洋史) 剛腕維新 (小沢一郎) 製作あそび百科 (竹井史) もっと長い橋、もっと丈夫なビル (ヘンリー・ペトロスキー) 決定版やせる! 裏ワザ知得メモ555 (主婦の友社) 無言館の青春 (窪島誠一郎) 加計呂麻・かけら (織田道代) ブロンズの地中海 (司修) おんちゃんは車イス司書 (梅田俊作) さんぽひものはつこい (二宮由紀子) りんごほいほい (デビッド・マッキー) わたしはレナのおんぎょう (たかばやしまり) ノンタンでかであらう (トニー・ロス) 龍神様の銀のし

な ぜ、あの会社は儲かるのか? (山田英夫) 魅惑の世界鉄道紀行 (三浦幹男) 鏡の法則 (野口嘉則) 憲法九条を世界遺産に (太田光・中沢新一) 霧の訪問者 (田中芳樹) 東京ダモイ (鍋木蓮) 狐狸の恋 (諸田玲子) モコモコちゃん家出する (角野栄子) 海賊ジェリーの冒険 (カイマイヤー) あきのひのむしまつり (歌田典子)
【隼人図書館】
 ずく (熊谷千世子)
【国分図書館】

「広げよう本と心と地域の輪」
 今月の新刊。

少し変わった子あります
 森 博嗣 著
 失踪した後輩が通っていたのは、いっぴう変わった料理店。予約のたびに場所が変わり、毎回違う若い女性が食事に同伴してくれるという…。謎めいた料理店で出会う「少し変わった子」たちが、あなたを幻想的な世界へと誘う物語。

おいしい大豆生活
 大庭 英子 著
 現代人に健康志向が高まる中、豆や乾物など昔ながらの健康食材にますます注目が集まっている。なかでも大豆は日本の長寿を支える完全食品。大豆と数多くある大豆製品を食材にして、新しい大豆料理を提案。

ゆうくんだいすき
 朝川 照雄 作
 ゆうくんは、生まれてからおかさんとずーっと一緒。でも、おかさんがお仕事に行くようになり、ゆうくんは保育園へ。園から戻ってもおかさんはまだ帰ってきません。「おかさん、まだかなあー」そこへおかさんが!

うしろの正面
 小森 香折 作
 12歳の誕生日を迎える年の夏。「亡き父の幽霊が出た」という電話があり、晩彦は父の実家がある羽護山村へ向かうことになった。そこで晩彦を待ちかまえていたものは…。晩彦の冒険がはじまった!

霧島市立図書館に
 おいでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。

- 国分図書館 / ☎64-0918**
 ① 9:30~21:00
 ② 12月29日~1月3日
 特別整理期間/6月中の10日間
 - 隼人図書館 / ☎43-7574**
 ① 平日/10:00~19:00
 土・日・祝日/9:00~17:00
 ② 月曜日
 12月29日~1月3日
 特別整理期間/12月中10日以内
 - 溝辺図書館 / ☎58-3191**
 ① 8:30~19:00
 ② 12月29日~1月3日
 - 横川図書館 / ☎72-1596**
 ① 9:00~17:00
 ② 火曜日・祝日
 12月29日~1月3日
 - 牧園図書館 / ☎78-3349**
 ① 8:30~19:00
 ② 12月29日~1月3日
 - 霧島図書館 / ☎57-0316**
 ① 月・水・金/8:30~17:00
 火・木・土/8:30~20:00
 ② 日曜日・祝日
 12月29日~1月3日
 - 福山図書館 / ☎56-2026**
 ① 8:30~17:00
 ② 土・日曜日・祝日
 12月29日~1月3日
- 【① 開館時間 ② 休館日】



学校へ行こう

心はまんまる福山中

自らの心に問いかけ、気付き・考え・実行する生徒たち

福山中学校
 自問清掃



団結力なら負けない全校生徒40人みんな仲良し

福山地区の福山港を見下ろす高台に昭和22年に創立された福山中学校があります。自分で考えて行動するようにと授業などの始まりや終わりのチャイムが鳴らない福山中は、現在1年生8人、2年生18人、3年生14人の40人(男22人、女18人)。

生徒会で決めた学校自慢づくりスローガンは「さわやかあいさつ、きれいな学校、心はまんまる福山中」。生徒会活動が盛んで、昨年度は地域の人も協力してもらい、3年がかりで空き缶を集め、リサイクル業者に買い取ってもらったお金で車椅子を買い、老人福祉施設に寄贈。今年度も地域のみなが喜んでくれることをしようと幼稚園の子どもたちに手作りクッキーを焼いたり、お年寄りを招いてグラウンドゴルフをしたり港や公園の掃除をしたりしています。

じっくり座って自問する

自分で考え、自分で行動できる主体性を持った人間育成のための一つの手段として、福山中では「自問清掃」に今年度から本格的に取り組み始めました。「なぜ掃除をするのか」「どんな掃除をするのか」を考えた行動に移す。心の準備ができて

V O I C E

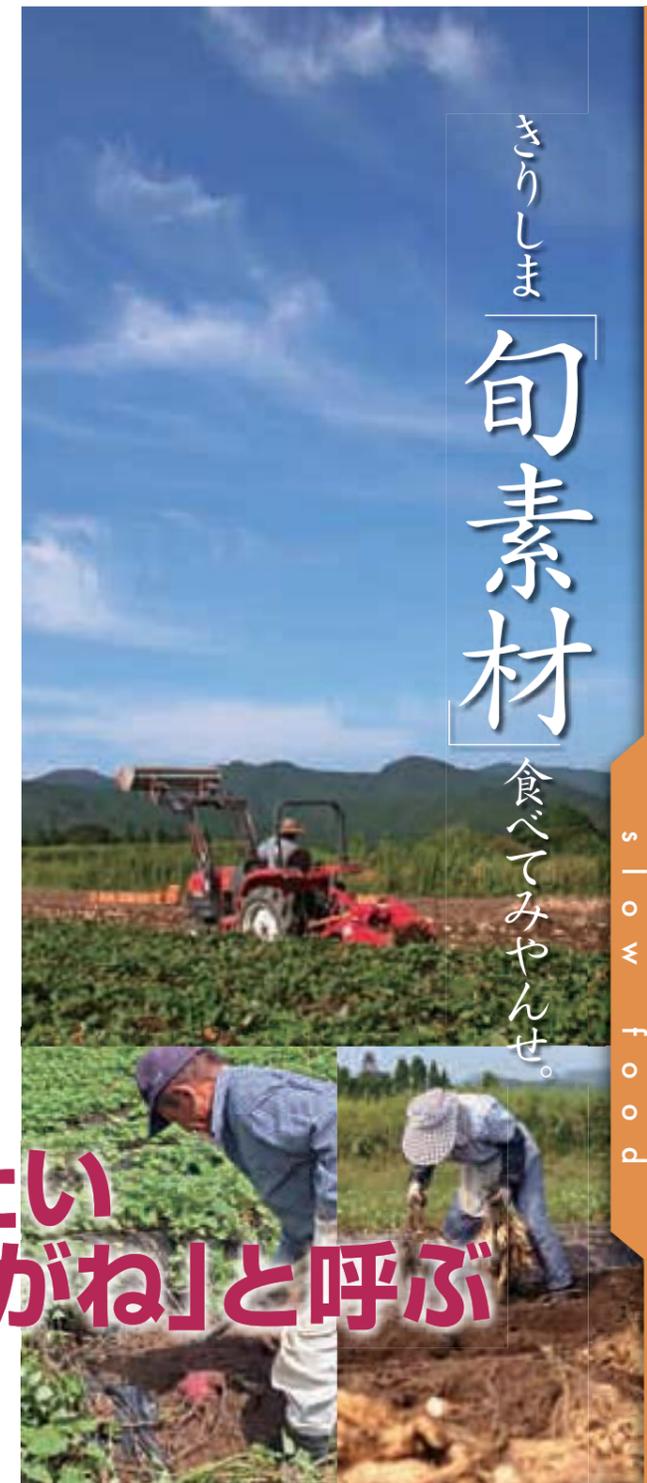
福山中学校はみんな元気があり、やるべきことは文句を言わずしっかりとやります。あいさつもみんなしっかりとでき、掃除のときも先生の指導はなく自分で考えて行動しています。生徒数が40人と少ないですが、いつも笑顔を絶やさず家族みたいで学校の雰囲気は最高です。時々、元気がありすぎて授業中、雑談が多いので集中できるようにしたいと思っています。3年生は学校生活もあと半年ですが、思い出をたくさんつくりたいです。1・2年生は野球、水泳、バレーボールに頑張っています。

◎霧島市立福山中学校
 岩戸 優真 生徒会長

いないときは掃除をせずにじっくり座って自問する。先生も「掃除をしなさい」とは言いません。始めのころ戸惑っていた生徒たちも今ではじっくり座って考え、「よしっ」と立ち上がって工夫しながら掃除をする生徒も出てきました。

「自問清掃」は始まったばかり。福山中は学校と地域が一体となって「さわやかあいさつ、きれいな学校、心はまんまる福山中」を目指します。

きりしま旬素材 食べてみよんせ。



にサツマイモに話し掛けます。

愛情込めておふくろの味を作る

朝7時、調理場のある溝辺コミュニティセンターは、運動会のような忙しさ。13人の仲間たちの元気な声が響く。

今回、「がね」を作っていた「溝辺みどり会」(代表岩下徳さん)は、平成10年に溝辺町食生活改善グループから名称を変更。最初は茶工場で働く従業員の弁当を作っていました。今では溝辺物産館「よこでーろ」に惣菜、からいも餅などを出したり、冠婚葬祭の盛皿などを作ったりしています。岩下さんは「おふくろの味、家庭の味を大事にしながら愛情を込めて作ることを忘れず、これからも手作りを心がけていきたい」と話してくれました。

千切りのいも揚げたら蟹^{かに}みたいだから薩摩は「がね」と呼ぶ

サツマイモには多くの品種があり、①食用、②食品加工用、③でんぷん・アルコール・飼料用に大別されます。サツマイモの主成分は炭水化物です。他のイモと比較して、食物繊維やビタミンC、カロチンを多く含みます。ビタミンCの含有量はみかんとさほど変わらず、しかも加熱しても安定しているのが特徴です。

おやつでもおかずでも《がね》 HOW TO COOK!



①野菜を太めの千切りにする。(ゴボウはささがき、ショウガはみじんぎり)切った野菜の中に卵、砂糖、濃口しょうゆ、おからを入れて混ぜたら10分ほどおく。



②①に小麦粉を加えて混ぜ、適当な大きさにして、油で揚げる。こんがりきつね色になったら出来上がり。
※がねはそれぞれの家庭で味が違います。自分なりのがねを作ってみてください。

【材料】(5人分)
サツマイモ …… 250g
ニンジン …… 100g
カボチャ …… 100g
ゴボウ …… 100g
ニラ …… 30g
ショウガ …… 30g
小麦粉 …… 350g
おから …… 200g
砂糖 …… 150g
濃口しょうゆ …… 80cc
卵 …… 2コ



◎溝辺町稲荷地区 丸山 安思さん・ミツ子さん



人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

「寒山焼との出会いが私の人生をより豊かなものにしてくれました」と笑顔で話してくれた赤池力さん。酢と潮の香りがほんのり漂う福山町福山で黒酢の杜氏をするかたわら、黒酢を発酵させるかめ壺をモチーフにした焼き物の制作に取り組んでいます。

陶芸を始めたきっかけは、昭和48年、知的障害者更正施設福山学園の松下兼知理事長から「子どもたちにも作る喜びを教えてほしい」と依頼されたことで、学園の寒山窯を使って焼き物の指導をしながら、自分自身も一から学びました。もともとものづくりが好きだった赤池さん。すぐに陶芸に魅了され、鹿児島陶芸展で2回も特選を受賞するほどの腕前になりました。

当時、学園の子どもたちには「おとっちゃん」と呼ばれて親しまれ、今でも教え子が訪ねて来ることがあるそうです。「寒山焼に出会ったからこそ味わえる喜びですね」とうれしそうに話してくれました。

陶芸のおもしろさは「こう作ればこうできるという単純なものではなく、出来上がりの予想ができない、奥が深いところだ」と話します。素焼きにかける釉薬の調合や、焼くときの温度調節など試行錯誤を繰り返し、自分がイメージしたとおりの作品に出来上がったときの喜びはこの上ないものだそうです。

今では自宅に窯を設置し、のんびりマイペースに自分が見たいことをするという思いで「悠悠工房 三味窯」と名づけました。最近では孫と粘土をこねながら遊ぶことも楽しみの一つ。「まだ自分が満足できる作品はできていない」と話す赤池さん。陶芸が与えてくれる喜びを噛み締めながら、作品への挑戦はまだ続きます。



Profile
赤池 力さん(72)
悠悠工房

昭和9年9月26日生まれ。黒酢造りに欠かせない麹屋に生まれ、昭和32年から黒酢造りに従事。昭和48年福山学園理事長から黒酢の伝統保持と寒山焼制作の指導を依頼される。第5回鹿児島陶芸展(昭和62年)から2年連続で特選を受賞。昭和60年同学園を退職。現在は福山黒酢株式会社で杜氏をしながら妻スズ子さんと二人暮らし。

大きな喜びを運んできてくれた
寒山焼との出会いが

このページは第一線で活躍する専門家に寄稿していただきます。霧島市に何らかの形でご縁のある方々で、緑のあった「人」「自然」「文化」などを題材にシリーズでお届けします。読者の皆さんが霧島市のよさを再認識したり、新しい価値観を再発見できたりする紙面を目指します。地域づくりを創造する核の一つになれば幸いです。

第6回

魅力の「豊」庫 防災も絆から

私

にとつての「霧島市」、それは魅力の宝庫だ。いや「豊」庫と言ったほうがいいかもしれない。毎週土曜日の夕方ニュースで、「きょうのふるさとの姿」をハイビジョンカメラで撮影し、映像を交えながら天気予報を伝えてきたが、霧島市においては四季折々の「映像ネタ」の豊かさに驚かされる。春は霧島連山のミヤマキリシマで始まり、旧隼人町松永のゲンジボ



霧島市は魅力の「豊」庫と語る亀田さんが2004年にハイビジョンカメラで撮影した高千穂河原の紅葉の映像。

タルが神秘的な舞を見せる。都市化による自然環境の破壊が懸念される中、ここではしっかりとふるさとの豊かさが再発見されていた。旧福山町の黒酢のつぼ煙も圧巻だ。映画でいうと水と米が主役で、酵母が演出家、太陽が総監督といったところだろうか。この地でしか育むことができない豊かな自然の恵みだ。夏は勇壮な国分夏祭りが脳裏に焼きついている。国分隼人テクノポリ

ス台地が広がり急傾斜地がたくさん見られる霧島地区は、災害の観点から見ても、今後どのような防災対策が必要か、重要視しなければならない場所のひとつであろう。総合的な防災インフラを構築するときに欠かせないのは地域の自主防災組織である。「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という観点から、行政だけに頼るのではなく、これからは地域に住んでいる人たちの知力、経験、生命や財産を守って自分たちの生命や財産を守っていかなければならない。そのためには、地域のどのような場所が危険で、そこにどのような人たちが住んでいるのか、もし災害が発生したときにはどこに避難して、自分たちの力でどこまで救助活動を行えるのか、などを常に総点検しておく必要がある、それはまさに地域で学び合ひながら安全な地域社会をつくっていくという、生

ことよって雨量が予想以上に増えたりすることがある。今後とも地域の情報伝達力、住民の避難システム、救助・救援力、行政の危機管理と監視警戒力をさらに高度なものにしていかなければならない。今回の県北部豪雨災害でも5人の尊い命が犠牲になったが、高齢者が目立つ。高齢者を災害からどう救うか。過疎地では今後も高齢者の占める割合が増え続けるだろう。そういう意味でも霧島市には、高齢者に優しい防災対策の先進自治体であってほしい。

取

材で県内各地を駆け回ると、まちづくりにも活気がある市町村とそうでない市町村がハッキリしている。それは何に起因するのか。疑問を解決するために大学の修士課程で「地域の生涯学習計画論」について鹿児島県内の市町村をベースに研究してみた。そのとき出会ったのが、旧隼人町の生涯学習活動への取り組みだった。調査をしながら「どこにこんなパワーがあるのか」と実感した。まちづくりは地域住民が自分ごと、地域のこと、そして市

心の奥底に霧島の人と自然の雄大な遺産が根付くとすれば、この大なる豊かさは何ものにも替え難い教育資源となることだろう。

霧

島市は国分・隼人・福山地区の海に近いところもあれば、九州の屋根ともいえる霧島連山のような標高の高いところもあり、気象条件も多様化している。海水面を滑ってきた湿った空気は山の斜面を上昇しながら雲に変わり、やがて山頂付近で強い雨をもたらすことがある。特に梅雨時期や台風の影響時は、われわれ気象予報士にとつても山間部の雨量の増加は懸念材料の一つである。今年7月下旬の県北部豪雨災害で、さつま町や湧水町で甚大な被害が出たが、実は県が設置している雨量計によると、新湯や高千穂河原で、連続雨量が1、200ミリ前後を観測していた。確かに周囲に人家がないために、大きな被害にはならなかったが、紫尾山のアメダス総雨量1、237ミリに匹敵するほどの大雨が降っていたのである。鹿児島県本土はどこも同じだが、特にシラ

町村のことをよく知ろうという学びから始まる。まちづくりの計画段階から住民が積極的に参画し、住民が主体となってまちづくりを進めるといふ、生涯学習によるまちづくりの本来の姿があった。その代表例として「ウィメンズ隼人」「南風の生活文化展」、大学と連携した「ユライフカレッジ隼人」、各公民館の自主活動などの活発な活動が展開され、全国の自治体からも注目されていた。まちづくりにおいては広域合併のメリット、デメリットがさまざまな形態で現れてくると思

うが、まず住民が「主役は自分だ」という認識を再確認し、自分の地域をとにかくよく知ることが大切だろう。広域合併の時代こそ、その広域な自治体を形づくる集落や地域の力が重要であり、それがいま試されているのではなかろうか。そして、行政主導ではなくて住民主導のまちづくりが発展して初めて「霧島市に住んでよかった」と実感できるだろうし、どこに行っても自慢できるふるさとの姿が出来る上るのではないかと、霧島市への大きな期待が膨らむ。(了)

エッセー

地域

づくり

MBC気象予報士
文 亀田晃一
Kameda Kohichi



かめだ こういち 38歳 出水市出身
1989年/国立熊本電波工業高等専門学校 電波通信学科卒業
1999年/気象予報士の資格を取得
2002年/放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了
現在 鹿児島大学非常勤講師、第一級無線技術士、第一級無線通信士、第一種高校教諭免許ほか
資格:気象予報士、第一級無線技術士、第一級無線通信士、第一種高校教諭免許ほか
気象情報の担当番組:MBCニュースナウ、旬感テレビ、たんぼ倶楽部(ラジオ)

告知

霧島市誕生一周年記念式典の開催

新市霧島市の誕生一周年を記念し、合併により誕生したまちの一周年を市民みんなで祝うとともに、市民の融和と一体感を醸成するため開催いたします。

また、霧島市の誕生一周年と海津市との姉妹都市盟約締結を記念し、宝暦五年に薩摩義士が宝暦治水工事の完成を祝い、薩摩から取り寄せて植えた木曾三川千本松原の松苗の子孫の里帰りをを行います。

【開催日】11月5日(日)

- 記念式典
 - ・会場=霧島市民会館
 - ・時間=午前9時30分~
 - ・内容=
 - オープニング

- ・霧島市紹介ビデオ
- 式典
 - ・霧島市市民憲章および市の宣言の発表
 - ・木曾三川千本松原の松苗の贈呈
 - ・ふるさと標語コンクール表彰など
- 記念イベント
 - ・会場=市民広場、多目的ホール
 - ・時間=午前11時~
 - ・内容=
 - 舞台発表
 - ・市内高校生の発表
 - ・郷土の伝統芸能、文化協会加入団体の発表
 - 特産物販売
 - 千人鍋の無料配布
 - 手作りフリーマーケット

- 子ども広場(ふわふわドーム、ヨーヨーショー、ミニオカリナ絵付けコーナー、似顔絵コーナーなど)
- その他(お茶の野点、花の展示など)

※内容に変更が生じることもあります。

■記念講演会

- ・会場=霧島市民会館
- ・時間=午前10時50分~
- ・講師=俳優 柳生 博さん
- ・演題=「森と暮らす、森に学ぶ」



柳生 博さん

◎問い合わせ先=総務課市民運動推進室 ☎(64)0915

Health

◎健康情報

「さあはじめよう!生活習慣を変えてみんなで健康づくり」 第1回霧島市健康増進大会 健康フェスタinきりしま 11月12日(日) 午前9時開場

「さあはじめよう!生活習慣を変えてみんなで健康づくり」をテーマに霧島市健康増進協議会主催による健康増進大会を開催いたします。健康のすばらしさを市民みんなで考えましょう。



健康増進大会

- ・「さあはじめよう!生活習慣を変えてみんなで健康づくり」をテーマに霧島市健康増進協議会主催による健康増進大会を開催いたします。健康のすばらしさを市民みんなで考えましょう。
- ・場所=国分シビックセンター
- ・時間=午前9時~午後3時

- ・始良郡薬剤師会コーナー(薬に関する相談)
- ・消防局救急コーナー(AED・応急手当・心肺蘇生)
- ・高齢者認知症相談コーナー
- ・わかば会共同作業所コーナー
- ・塚脇学園作品展示コーナー
- ・始良保健所コーナー
- ・医師会医療センターコーナー
- ・腎友会コーナー
- ・子供風船遊びコーナー
- ・4階和室茶室
- ・鍼灸師会無料奉仕活動
- ・あんま・マッサージ・鍼灸
- ・(市民広場)食育・地産地消
- ・市内物産館の安心安全食材販売、黒酢試飲販売
- 〈多目的ホール〉
- 式典=午前10時~
- ・オープニングセレモニー
- 「日当山保育園子供エイサー」



表彰

- ・表彰8020運動表彰(始良郡歯科医師会霧島市支部協力)、健康増進作品表彰
- ・健康運動普及推進員事例発表「みんなの体操・タオル体操」
- 記念講演=午前11時15分~午後0時45分
- ・講師=愛媛大学医学部付属病院医療福祉支援センター長 榎本真事先生
- ・演題=「住民が主役!健康で元気なまちづくりを目指して」
- ◎問い合わせ先=健康増進課 ☎(64)0905
- 子育て支援に関する特別講演会
- ・場所=市民会館
- オープニングコンサート
- ・時間=午後1時~1時30分
- ・演奏=ピアノ・笙・井安弥子さん(霧島市在住)
- 特別講演
- ・時間=午後1時30分~3時
- ・講師=千葉絃子先生(歌手、篤志面接委員、保護司)
- ・演題=「子どもたちからのメッセージ」
- ◎問い合わせ先=児童福祉課 ☎(64)0991



千葉絃子先生

Environment

◎環境情報

「天降川ウォッチング」参加者募集

霧島市では環境に関する施策を総合的、計画的に進めるため「環境基本計画」の策定を行っています。

今回、その一環として霧島市を流れる天降川の現状を調査し、市民の皆さまと一緒に環境について考えるために「天降川ウォッチング」を実施します。日程などは次のとおりです。皆さまのご参加をお待ちしております。

- ・集合場所=国分シビックセンター市民広場前
- ・集合時間=午後1時
- ・見学場所=天降川上流域、中流域、下流域など
- ・参加費=無料
- ・持参品=雨具など
- ・対象者=市内に居住または通勤・通学される方などでも(ご家族歓迎)
- ・定員=30人(応募者多数の場合は抽選とします)
- ・応募方法=参加される方の住所、氏名、生年月日、電話番号を記入の上、はがき、ファックス、電子メールで申し込み

よって、次のとおりとなります。

- ・平成18年~21年=3年間
 - ・平成22年~24年=2年間
 - ・平成25年~27年=1年間
- 減額は改修工事が完了した年の翌年度分から実施されます。なお、住宅1戸当たり120平方メートルの税額が、減額の対象となります。
- ※この減額を受けようとする対象住宅の所有者は、現行の耐震基準に適合した工事であることの証明書(発行は土木事務所・建築士・指定住宅性能評価機関 指定確認検査機関)を添付し、改修後3か月以内

Tax

◎税務情報

既存住宅に耐震改修を施した場合の固定資産税の減額について

既存住宅で現行の耐震基準に適合した改修工事を行うと、改修後一定期間その住宅の固定資産税が2分の1に減額されます。要件は次のとおりです。

- ・昭和57年1月1日以前から存している住宅であること
- ・現行の耐震基準に適合した改修工事であること
- ・改修工費が1戸当たり30万円以上であること
- ・減額期間は改修をした年に

市税などの納付は口座振替が便利です

口座振替を利用すれば、納め忘れの心配がなく、毎回金融機関に行く手間が省けます。

- 口座振替の手続き
- 各金融機関、郵便局の窓口ですぐ手続きできます。(申請書は霧島市内の各金融機関、郵便局の窓口にて備えてあります)

河川の水質汚濁事故が多発しています

河川や側溝に油、化学物質などを大量に流すと、水質を汚染し、環境に悪影響を及ぼすだけでなく、漁業、農業関係者にも多大な迷惑をかけてしまいます。事故の原因者は社会的信用低下を招き、処理に要した経費など

の負担も求められます。事故等により河川や側溝に水質を汚染するようなら、積極的に減量化に努めること、国や地方公共団体の施策に協力することなどが定められています。各事業者においては、びん、ペットボトル、新聞紙、OA用紙、ダンボールなどの事業系一般廃棄物の分別をさらに徹底し、ごみの再資源化、減量化にご協力くださるようお願いいたします。なお、分別は事業者自らが行うものであり、市の収集・運搬許可業者は分別をお願いします。これは法律上できませんのでご注意ください。

税金は納期内に納めましょう

除料(普通徴収) ●口座振替日 振替日は納期月の25日です。ただし、金融機関が休業日の場合は翌営業日です。 ◎問い合わせ先=収納課収納第1係 ☎(64)0892



川筋直しの概要については、先月号でお話しました。では、どのような方法で川筋を変えたのか。今回はその工法について考えてみましょう。

工事の順序としては、新しい川にする溝をまず最初に掘る。次に元の川を締め切る。この方法が考えられます。その溝掘りですが、付近の農民を総動員して、川溝を掘らせたようなイメージが頭に浮かびます。しかし、それだけではなかったようです。

以前から、「新川は井戸を掘って作ったげな」といわれていました。さりながら「井戸を掘ったとは、いけなこっけ」という疑問も消えず、具体的な様子もつかめませんでした。

最近「天降川の川筋直し研究会」の方々により、新しい資料が掘り起こされました。それは大分市宗方村に残された絵図の発見です。

絵図は江戸末の嘉永元年（一八四八）に、宗方村で行われた用水掘りの様子を描いたもので、地下へ縦に井戸を掘り、さらに横に穴を掘りつなぎ、水道を作っている様子が見事に描きとめられているのです。青竹の管を差しこんで空気穴を

設けたり、松明を灯したりしている様子も見られます。これを見て、新川掘りの工法もある程度、具体性を帯びて理解できるようなりました。

川筋直し研究会の皆さんは、新川掘りの場合、横穴がある程度つなげた時点で川水を注ぎこみ、土砂を押し流したのではと、推理を進めています。（詳しくは『天降川の川筋直し』を読んでください）昔の人たちも、頭を使ったのですね。

現在の地名からも川筋直しの歴史がうかがえます。野口橋下流には「東高岸・西高岸」の小さな村があり、ある程度自然の地形を利用した形跡もあります。またソニー付近に「小村土手」の名前が残っています。これは小村の人たちが築いた土手だそう。準人駅前「土取窪」の文字がありますが、これも土手を築くため、土を取った跡に名付けられたものではないでしょうか。

新川の川筋直しの費用には、横川山ヶ野金山の金が使われたという記録があります（「殖産興業の先覚者 島津久通（徳源公）の事蹟」）。

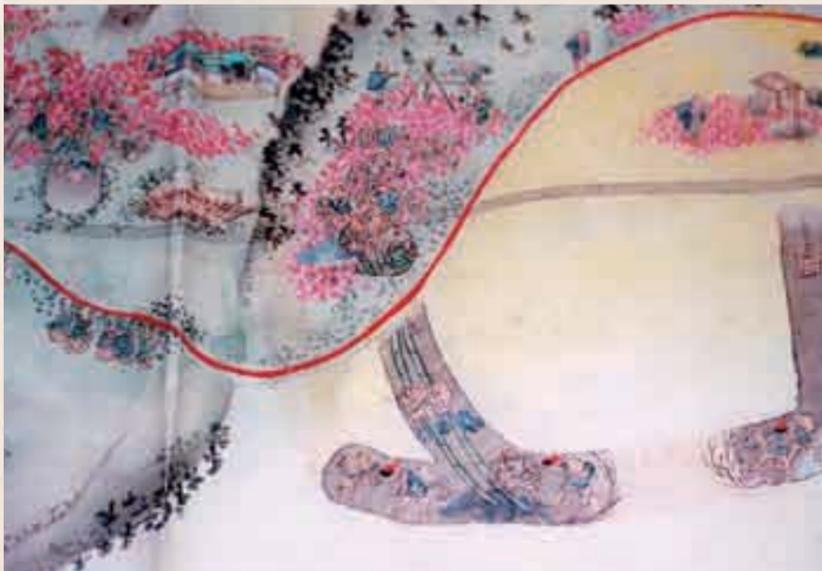
費用は金で137貫目余り。現在の額にして、いったいいくらに相当するのでしょうか。（ちなみに一貫目が3・75キログラムです。500キログラム以上になります。）川筋直しと山ヶ野金山。この二つの接点を考えると島津久通が浮かび上がってきます。

久通は寛文年間まで、金山奉行を勤めたことが薩摩藩の記録にあります。新川

掘りの責任者も久通でした。

こういうことを思えば、新川掘りの工事には、金鉱石を掘る技術が井戸堀や横穴堀に転用されるなど、さまざまな知恵・技術が用いられ、人のつながりがあったことがうかがわれて興味を尽きません。

文責 藤



大分市宗方林所蔵：地下水道掘りの絵図

金を掘り 川を掘る

【其の2】

脳卒中

M E D I C A L L E C T U R E やさしい医療講座

霧島市立医師会医療センター
神経内科・リハビリテーション科／長濱 吉幸



脳卒中の話

今回は脳卒中について簡単に述べさせていただきます。

「卒中」は卒倒（そつたう）のことで、脳に原因があったて倒れたり、動けなくなったりすることからこう呼ばれるようになったようです。いわゆる脳血管障害を指して使われる言葉で、外傷によるものは含みません。

脳血管障害は大きく二つに分けられます。血管が破れる出血性のもので、血管が詰まる虚血性のもので。これらについてもう少し詳しく見てみましょう。

出血性脳血管障害

代表的なものとして、脳出血とくも膜下出血が有名です。脳出血は穿通枝と呼ばれる、脳の深いところを貫いている、細い血管が破れて、血腫（血の塊）を作ってしまう状態です。これに対しても膜下出血は典型的なものでは、脳の底にある比較的大きい血管に出来た動脈瘤（血管のこぶ）が破れて、脳が血まみれになる状態です。

脳出血では出血を起こした場所や、血腫の大きさによって、意識障害・言語障害・麻痺などさまざまな症状がみられます。高血圧の治療が広く行われるようになって、昔よりも重症例が減っているといわれています。

くも膜下出血は突然の激しい頭痛や意

識障害で発症し、現在でも半数ほどの方が亡くなる、大変危険な状態です。

虚血性脳血管障害

大まかに分けると、動脈硬化で血管が狭くなり、詰まってしまう脳血栓症と、心臓などに出来た血の塊が流れてきて、血管を詰まらせる脳塞栓症があります。脳血栓症は動脈硬化が原因となり、高血圧・糖尿病・高脂血症などがある方は要注意です。脳塞栓症は主に心房細動といわれる不整脈が原因になり易いです。心臓がブルブルと細かく震えている状態ですので、血流が滞り、小さな血の塊を作りやすくなるわけです。

脳出血と同じように血管の詰まる場所や詰まった広さによって、意識障害・言語障害・麻痺などさまざまな症状がみられます。年齢が上がるほど頻度が増えます。また脳塞栓症のほうが傷害部位が広く、重症になりやすいといわれています。

予防と気をつけること

くも膜下出血は前兆も無く起こることが多く、動脈瘤は自覚症状が乏しいことが多いといわれています。動脈瘤があるかどうか調べる方法として脳ドックなどのMRI検査があります。動脈瘤の場所や大きさにもよりますが、破れる前に見つけて処置することも可能です。

脳出血は血圧のコントロールが大切です。どうも無いからとほったらかしにしている方は、まず塩分を控えて薄味にし

ましょう。太っている方は標準体重まで減らすことも大切です。それでも高いようならすぐに治療を始めましょう。

脳血栓症は動脈硬化が主な原因です。動脈硬化はある意味では老化現象です。完全に予防することは出来ません。先ほど述べましたように、高血圧・糖尿病・高脂血症があると動脈硬化がどんどん進みますのでしっかりと治療しましょう。タバコも良くありません。脱水が引き金になることもありますので、水分は日ごろから十分に摂るように心がけましょう。

脳塞栓症の場合は心房細動という不整脈が原因になりやすいので、この不整脈をお持ちの方は用心してください。不整脈が起こった初期には止められる場合もありますが、慢性化すると止まりにくくなります。脳塞栓症を起こしたことがある方は、再発予防に血を固まりにくくする薬を飲んでいただく場合もあります。

大切なことはすぐに病院を受診することです。激しい頭痛や意識障害があるときは速やかに救急車を呼んで、脳外科を受診しなければいけません。しびれや軽い麻痺の場合も速やかに脳外科や神経内科を受診してください。後遺症を軽くするには、適切な治療を出来るだけ早く開始することです。一番いけないことは「とりあえず2〜3日様子を見てから」です。これから寒くなり脳卒中が起りやすい時期ですので、皆さん気をつけましょう。

お知らせ

**国分駅前自転車駐車場の
放置自転車の引取りを**

国分駅の自転車駐車場を無料開放していますが、長期間放置された自転車が多くの利用者に迷惑をかけています。今回、市の条例に基づき長期間放置された自転車などを処分するため移動しました。返還を希望される方は、本人であることを証明する書面と自転車などの鍵を持参の上、都市整備課で手続きをしてください。

なお、引取りのない場合は条例の規定に基づき告示の日から6か月で処分します。
●処分の根拠は10日以上放置されていたもの
●処分物件は放置自転車
●告示日平成18年9月21日
◎問い合わせ先 都市整備課 都市計画係 ☎(64) 0908

**高速道路での交通事故
防止について**

インターチェンジ付近で渋滞時の死傷者を伴う追突事故やトンネル内での危険運搬車両が関係する事故が多発しています。○高速道路では前方の停車車両や渋滞車両に接近した場合は、

非常点滅駐車灯を点灯し、追突事故を防止しましょう。
○トンネル内では、ライトを必ず点灯しましょう。
○高速道路では後部座席もシートベルトを着用しましょう。
◎問い合わせ先 鹿児島県警察本部 高速道路交通警察隊・鹿児島県高速道路交通安全協議会 ☎(63) 4531

霧島市戦没者追悼式

霧島市出身の戦没者に対し、追悼の誠を捧げるため、霧島市戦没者追悼式を次の日程で挙行いたします。
・日時 10月26日(木) 午前10時
・場所 霧島市民会館

◎問い合わせ先 霧島市福祉事務所 社会福祉課 福祉政策係 ☎(64) 0904

10月は「土地月間」です

一定面積以上の大規模な土地取引には、国土利用計画法に基づく届出が必要です。届出は契約を締結した日から起算して2週間以内に、土地の所在する市町村役場の国土利用計画法担当窓口へ届け出てください。
・届出を必要とする面積は都市計画区域内は5千平方メートル以上、区域外は1万平方メートル以上

◎問い合わせ先 都市整備課 土地対策係 ☎(64) 0908 各総合支所建設課(単人総合支所は都市計画課)
○日時 10月29日(日) 午前8時～午後4時
・内容 観閲式、音楽演奏、戦闘訓練展示、体験試乗、ロビー体験、試着コーナー、装備品展示、作品展示
◎問い合わせ先 国分駐屯地広報室 ☎(46) 0350

◎問い合わせ先 鹿児島県ハインドボール協会事務局 ☎(52) 1155
相談
かごしまDV110番
電話無料相談・県の事業
パートナー(夫・妻・恋人)から外出先や外出時間を制限されている方、性的関係を強要されている方、他人の前で侮辱されている方、干渉されず自由に使えるお金が少しでもありますか。
●相談日
・第3火曜日(10/17、11/21、12/19、1/16) 午後3時～5時
・第4火曜日(10/24、11/28、12/26、1/23) 午前10時30分～午後0時30分
・相談専用 ☎099(800)5913
・相談担当 心理カウンセラー
◎問い合わせ先 特定非営利活動法人こころのサポートアミ事務局 ☎099(206)3650



みぞべ良寛書展

・期間 10月20日(金)～31日(火)
・会場 市役所市民ギャラリー
◎問い合わせ先 最勝寺良寛 ☎(59) 2345

**日本ハンドボールリーグ
ANACUPプレーオフ**

■ソニーセミコンダクタ九州対三重花菖蒲
・日時 10月21日(土) 午後1時～
・場所 国分総合体育館
・入場料 大人1,000円、中学生以下は無料

募集

霧島市行政改革大綱(素案)に対する意見を募集

霧島市では、平成22年度を目標準年度とする霧島市行政改革大綱を策定します。現在、この大綱の素案に対するご意見を次のとおり募集しています。
●公表(意見受付)期間 10月16日(月)～11月13日(月)

必着

閲覧方法および閲覧場所

・インターネットによる閲覧 霧島市ホームページ <http://www.city.kirishima.jp>
・各公共機関への設置 国分シビックセンター4階情報公開室、行政改革推進課、各総合支所総務課、牧ノ原支所
●意見提出方法 閲覧場所にある意見提出用紙に住所、氏名、意見などを記入の上、郵送またはファックス、電子メール、本庁情報公開室および各総合支所のご意見投函箱に提出してください。

なお、電子メールでの提出は意見提出用紙の様式に従い、テキスト形式で送付ください。添付ファイルによる提出はできません。
◎提出・問い合わせ先 行政改革推進課 行政改革係 ☎89914394 国分中央三丁目45-1 1階(47)2522 電子メール info@city-kirishima.jp ☎(64) 0952

指定管理者を募集します

指定管理者制度とは、平成15年6月の地方自治法の改正により創設された制度です。市では公の施設の管理について、住民サービスの向上と経費削減を図ることを目的として、

平成18年4月から導入しています。今回、平成19年4月から、新たに指定管理者制度を導入する施設(4件6施設)の指定管理者を募集します。

●受付期間 10月10日(火)～31日(火)
募集の条件などは、左記の担当課にお尋ねください。市のホームページでも確認できます。
◎指定管理者を募集する施設・問い合わせ先

- ・丸岡公園(横川総合支所丸岡公園) ☎(72) 1362
- ・国分海浜公園・国分キャンパス
- ・海水浴場・北公園・南公園(スポーツ振興課) ☎(64) 0927
- ・観光課 ☎(64) 0895
- ・黒石岳森林公園(林務水産課) ☎(64) 0938

国分子ども会歩いっしょ会

・期日 11月19日(日)
・集合場所 国分城山公園 駐車場
受付時間 午前9時～
・コース 国分城山公園 駐車場～毛梨野～宇都良～郡山コミュニティ広場～台明寺溪谷公園(昼食)～北公園～毛梨野～国分城山公園 駐車場(約15キロ)
・参加資格 健康な方
・参加定員 200人(定員に

新ふるさと探訪 天皇家先祖の御陵、高屋山上陵 嘉例川駅舎めぐり

市内の歴史・文化について学びませんか。
・日時 10月29日(日) 午前9時～正午(小雨決行)
・見学場所 高屋山上陵(溝辺)、嘉例川駅(単人)
・参加料 1100円
・集合場所 上床公園(溝辺)
◎申込・問い合わせ先 溝辺出張所生涯学習課 ☎(58) 3191 単人歴史民俗資料館 ☎(43) 0179

平成18年度自衛官募集

・募集種目 自衛隊生徒
・受験資格 中卒(見込含む)
・試験期日 19年1月13日
◎問い合わせ先 自衛隊鹿児島地方協力本部 国分地域事務所 ☎(45) 1836 (自衛隊鹿児島地方連絡部 国分募集事務所) 名称が7月31日から変わりました

子どもをわかってほしいと、児童・思春期の心理臨床の場から

志学館大学人間関係学部教授 / 臨床心理士の山喜高秀先生が「子どもたちは変わったか」について講演。また、精神科、心

子どもをわかってほしいと、児童・思春期の心理臨床の場から

志学館大学人間関係学部教授 / 臨床心理士の山喜高秀先生が「子どもたちは変わったか」について講演。また、精神科、心

子どもをわかってほしいと、児童・思春期の心理臨床の場から

志学館大学人間関係学部教授 / 臨床心理士の山喜高秀先生が「子どもたちは変わったか」について講演。また、精神科、心

子どもをわかってほしいと、児童・思春期の心理臨床の場から

志学館大学人間関係学部教授 / 臨床心理士の山喜高秀先生が「子どもたちは変わったか」について講演。また、精神科、心

8 9 9 - 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

霧島市役所
広報広聴課 行
(No.20/2006.10)

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

PRESENTS

霧島

読者プレゼント

10

気 がかりです。このままで
は将来、鹿児島弁が廃れ
てしまうのではないかしらと。
私は生まれも育ちも鹿児島で
が、今でも初めて聞く鹿児島弁
があります。今では、祖父母と
生活をしていない子どもも多い
ので、生粋の鹿児島弁は聞いて
もわからないし、話すことはな
おさらできないように思えます。
この鹿児島文化を消すことな
く後世に伝えていってほしいで
す。ご年配の方々に指導頂き
ながら子どもたちとの鹿児島弁
での交流会があっても良いので
はないでしょうか。(M40歳女性)

全く同感です。子どもたちだ
けでなく若い世代と話をしても
通じないことが多々あります。
生粋の鹿児島弁は私たちが使う
鹿児島弁と違い、本当に上品な
ことばであり貴重だと思えます。
Mさんのおっしゃるとおり、後
世に伝えることが必要だと思
います。

こ んにちは、毎号広報誌を
楽しみにしている者です。
年を重ねると、どうしても家
にいることが多くなっています。
「きりしま、かわら版」など、
自分の住んでいる地域のみでな
く全地域の行事、話題が得られ
うれしくなります。近所の方
たちも広報誌の内容を楽しく話
したりして時を過ごすこともあ
ります。編集なさる職員の方々



Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの
声を伝えるページです。
本誌への感想、霧島市への思いなど、
たくさんのお声をお寄せください。



Community

の「苦労したいへん」と思っています。
楽しみにしている読者がおしま
す。頑張ってください。(S・
A70歳女性)

広報きりしまは市からの情報
を皆さん方にお伝えする大切な
情報誌です。今後でもできるだけ
多くの地域の情報・話題をお届け
したいと思えます。楽しみに
してください。

故 郷に帰り6年余り、私の
愛して止まない錦江湾を
懐に抱いた桜島の雄姿を朝夕
に眺め、広がる国分平野に心
和まされた雨上がりには掛る途轍
もなく大きな虹を描いた虹に感
動し、懐かしいふる里の星や光

や風の何とも言えない温もりの
中で活力を与えられています。
9月号「郷土史への扉」の示唆
に富んだ記事を感じ深く拝読い
たしました。先月の県北部豪雨
大災害を思い出す時、百年先を
見据えて治水工事をした藩主久
光の先見性に満腔の敬意を表し
たいと思えます。霧島市民は、
市長と共に心が合わせ目先
に囚われず百年後に焦点を合わ
せ市政に参画すべきであると一
層思わしめられました。(名波
の黄門さん69歳男性)

何事も目先に囚われず先見性
を持つことが重要だと思います。
将来の霧島市を見据え、各分野
で市政にも関心を持ち、霧島市
の未来のため参画していただき
たいと思えます。

霧 島市に来て3か月目の新
参者です。長野県から来
たので、気候の違いに心身とも
にびびくりしております。暑さ
の中で元気にしておられるこち
らの方には感心してしまいます。
子どもや若者はもちろんのこと、
お年寄りまでが私には炎天と思
われる中、外でスポーツしたり、
出歩いている姿を見かけます。
一体どうやって暑さに耐え、健

康を保っているのですか。ぜひ
教えて頂きたいものです。(雪
女32歳女性)

南国鹿児島で育っていますの
で暑さに強いのですが、そ
れぞれ体を鍛え、健康管理され
ていると思えます。寒さに強い
雪女さんも数年経つと暑さにも
強くなると思えますよ。

随 想の松橋氏のお話を読
み、私もヨソ者。ここに
来て16年になりますがつくづく
そう思います。辛い子どもたち
はここ出身。ただただ、いい人
材に育って欲しいと思うばかり
です。私も幸い要約筆記をぼけ
防止と始めて始めて3年。奥が
深くただ勉強の限りです。お互
いががんばればと。(花房53歳女
性)

こちらにいられて16年とのこ
とですので、ここ霧島を第2の
ふるさとと思ってください。子
どもさんたちもこれから楽し
みなことでしょう。要約筆記頑
張ってくださいね。

9 月号の特集「霧島国際音
楽祭2006」はとても
読み応えのある内容でした。27

回も続けてこられたことは、国
内外の優れた講師、熱意のある
受講生、地元、友の会の献身的
な協力があつたからだと思ふこ
とでした。この音楽祭のお陰で、
みやまコンセルができたこと
も初めて知りました。私たち市
民は霧島国際音楽祭がますます
充実発展するよう、期間中開催
されるコンサートや研修会に積
極的に参加することが大事だと
思います。霧島国際音楽祭は霧
島市が世界に誇る文化的財産だ
と思いませんか。(T・Y 66歳
男性)

今回特集を組むにあたっては、
音楽祭についての知識不足で皆
さん方どう伝えればよいか不
安いっぱいでした。しかし多く
の関係者の方々の協力で何とか
まとめることができました。私
たちも取材しながら本当に感動
しました。この財産を一緒に次
世代へ引き継いで行きましょう。

広 報きりしまは最初のころ
に比べ、最近は見ごたえ
のある内容が増えてきたような
気がします。霧島市の田園風景
も捨てたものじゃないという感
がありますので欲張りとは思
いますが農業や地区の昔話など掘

り起こしていただければと思
います。今後もよい記事を掲載さ
れるよう希望します。「金を掘
り川を掘る」の続きをぜひ見
たいと思えます。(K・M74歳男性)

霧島市の田園風景も本当にす
ばらしいと思えます。素材はほ
かにもたくさんあります。農業
や昔話などの掲載も考えてみた
いと思えます。

毎 号楽しみにしています。
号を重ねることに整理
されて読みやすくなってきてい
ると感じます。広範囲の地域、
多くのページ数、編集もたいへ
んだと思えます。「苦労様です。
中でも「informatio
n01」は何となく見やすくなっ
た気がしました。より身近な情
報誌として、これからも楽しみ
にしています。(もせ36歳女性)

インフォメーション01が見や
すくなったとのこと意見、今後の
参考になります。これからも皆
さまのご期待に添えるよう頑張
ります。

牧 園に行く時の妙見の景色
が大好きです。その時、
時間があれば必ず立ち寄るのが

足湯。道路沿いにあり、無料も
魅力。今まで何人かの旅人とお
話をする機会があり、交流の場
でもあります。温泉めぐりをさ
れている方、神戸、横浜…と遠
い所から来られています。「霧
島はすごくいい所でした」と言
われると、自分のことをほめら
れているようにうれしい気分
になります。すばらしい自然、お
いしいものがたくさんある霧島
市。こないところに住んで
いる自分は幸せだなと、足を
つけながらしみじみと感じて
いるところです。(霧島ユロン41
歳女性)

妙見の足湯は地元の方がいつ
も清掃をされています。本当に
ご苦労様です。すばらしい所
はすばらしい人がいます。私
たちも霧島をほめられると本
当にうれしくなります。これ
からも旅人といろんなお話を
してくださいね。

このほか、10通のお便りがあ
りました。ありがとうございます。
プレゼントは13人の方に
配送しました。

※ハガキには住所・氏名・年齢
などを必ずお書きください。

ふるさとに感謝

◎松元 賢次



お平様が上井城から潮くみに通った道が海へと延びる

さら地になっている国分上井の
実家跡地の裏山一帯が、県の急
傾斜地崩落対策事業で整備され
ることになり、先日、状況を見
に行った。標高約1311の山
上にあった上井城跡の麓で、周
りに民家が帯状に張り付いてい
る。子どもころはこの小高い
山を「おえんしろ（上井城）」と

言って、センダンの実を餌にヒ
ヨドリワナを仕掛けたり、モ
チノキのモチを竹の棒先に塗り
つけてメジロを追ったり、手作
りの台車で坂道を降下したりし
て遊びふけた。

昼間、キジの巣を見つけてお
いて、夜、捕まえてキジ鍋にし
たりもした。今どきの子どもに

はたまらないほどサイバイル的
な遊び場だった。痛い思いもし
た。小学5年のとき。痛い思いもし
た。小学5年のとき。友だち
3人で塩を持って青梅をちぎり
に行った。ふざけているうち土
手を転げ落ち、左のふくらはぎ
に竹の切り株が突き通った。い
ろんな思い出が詰まった山に、
今、その中腹にはソフトボール、
ゲートボールが楽しめる

井城の麓で送った島津義久の長
女、お平様が海に潮くみに通っ
た道だ。郷土誌によると、お平
様は嫁ぎ先の薩州島津家の義虎
に先立たれた後、嫡子忠辰が朝
鮮の役で軍規を守らなかつた
豊臣秀吉の怒りを買って家は断
絶、国分に帰された。お平様が
悲しみをこらえながら通った
あろう道を、今、国分南小、国
分南中の子どもたちが語らいな
がら下校している。

ら縄文時代、IT関連企業が隣
り合っているのがこの地域の
特色だ。1市6町の合併で平成
のふるさと是一段とバージョン
アップした。海、山、温泉、上
野原縄文の森…。これほど条件
に恵まれたところはない。自然
の美しさに比例して人の心も温
かい。そんなふるさが好きだ。

「これ以上の幸せはない。
風の音、土のおこ
人の温もり、ふるさとに感謝」

上井城跡から国分下井
の海岸に向けて一本の道
が延びている。余生を上
城山公園が。

山頂に立ったのは50余
年ぶりか。「オー、よかと
こや（良いところだ）」。
すばらしいロケーション
に思わず声を発した。正
面には鏡のような錦江湾
に桜島、東には9500
年前の国内最古、最大級
の縄文のムラを復元した
上野原縄文の森、西の軍
人沖には三島、振り向け
ば眼下に京セラ鹿児島国
分工場。目線を上げれば

リタイアして半年。体も気も
なまらぬように努めて動くよ
う心がけている。好んで行く所
に、天文学に残る大発見となっ
た百武（ひやくたけ）星発見の地（国分平
山）がある。上野原縄文の森へ
車で10分足らずの距離で、単人
町の故百武裕司さんが1995
年12月と翌年1月に発見、その
ニュースは世界に発信された。
百武さんの功績をたたえ、地元
の人が記念碑を建てて公園にし
ているが、子どもたちの天文学
習の場としてはもちろん、百武
さんの世界的な偉業を後世に伝
える意味でも「天文施設があれ
ば」と、堅穴（たかね）住居をモチーフに
したプラネタリウムを想像して
は時間を費やす。宇宙の世界か

Profile



まつもと けんじ (65) / (国分湊在住)
1941年台湾高雄市生まれ。59年3月
県立国分高校卒業、63年3月専修大学
法学部卒。同年4月鹿児島新聞入社、
65年3月読売新聞西部本社入社。鹿児
島支局、出水、宇部、別府通信部、佐世
保支局を経て89年、国分・霧島通信部
に。日常の事件・事故、災害や行政など
の報道取材に当たる。今年3月退職。

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げ
てほしい記事、霧島市への思い、あなたの
身近な出来事、何でも好きなことを書
いてください。

お便りをくださった方の中から新
高なしを5人の方にプレゼント。
応募締切は10月20（金）当日消
印有効です。当選の発表は、商品
の発送をもってかえさせていただきます。

↑点線に沿って切り取ってください。（官製はがきでも可）

PRESENTS

溝辺物産館「よこでーろ」から 新高なし2個入りをプレゼント します。

国道504号沿いの溝辺物産館。この辺りは昔「横大路」と呼ばれ畑が多く「よこんでろ畑」と言われていました。これと物産館に来るように「道をまっすぐ行かないでちょっと横に出ろ」とをかけて「よこでーろ」の名前がついたそうです。物産館には生花、野菜、惣菜など86の人や会社が出品しています。

◎問い合わせ先=溝辺物産館「よこでーろ」 ☎ (58) 2949
【営業時間：午前9時30分～午後6時】

霧島市芸術祭および各地区文化祭のお知らせ

文化祭は例年どおり地区ごとに開催されます。また、霧島市と霧島市文化協会の誕生を記念し、霧島市芸術祭も開催されます。それぞれの会場で芸術に触れてみませんか。皆さまのお越しをお待ちしております。

- 牧園町文化祭
期日=10月28日(土)・29日(日)
場所=高千穂小学校体育館
- ふくふくランドふるさとまつり
期日=10月28日(土)・29日(日)
場所=福山活性化センター
- 国分支部文化祭
期日=11月2日(休)・3日(金)
場所=霧島市民会館・国分シビックセンター
- 霧島文化祭
期日=11月2日(休)・3日(金)
場所=霧島公民館
- 溝辺ふるさと祭り
期日=11月3日(金)
場所=みぞめ館
- 横川支部文化祭
期日=11月3日(金)
場所=横川公民館
- 隼人地区文化祭
期日=11月3日(金)・4日(土)
場所=隼人農村環境改善センター
隼人体育館
- 第1回霧島市芸術祭
期日=11月11日(土)・12日(日)
場所=みぞめ館

◎問い合わせ先=文化振興課 ☎ (64) 0990 および各出張所生涯学習課

市長コラム 前田終止

霧島市環境基本条例

9月の霧島市議会で市環境基本条例を全会一致で可決いただきました。霧島市の貴重な自然と共生しながら、環境を保全するということは、今を生きる私たちの責任でもあり、霧島市のブランド確立にもつながると思います。恵まれた霧島市の環境を再認識し、これを大切にする気運を盛り上げることで、将来的には観光や農産品のイメージづくりに関与する機会も出てくると思います。環境問題は県議会議員連盟の会長として、先頭になつて取り組んできた経緯があります。ですから、今回の条例には県議時代からの思い入れがあり、私のマニフェストの大きな柱にもなっています。県議時代も旧1市6町で、この条例制定を考えていたのですが、七つの自治体で同意を得ることは大きなエネルギーがいると思っていました。ですから、今回の条例制定は合併のメリットでもあり、地域住民が心を一つにできると思っています。

霧島市は海拔ゼロから標高1,700mまであり、霧島は日本初の国立公園です。美しい海、山、川に恵まれ貴重な動植物が存在しています。この「美しい霧島市」を次世代へ引き継ぎたいと思います。